表紙（提案書　様式１－１）

平成２０年度　地方の元気再生事業　提案書

平成２０年５月１６日

内閣官房地域活性化統合事務局
首都圏地方連絡室長　殿
内閣府地域活性化推進担当室長　殿

特定非営利活動法人
エヌピーオー・フュージョン長池
理事長　富永一夫　　印

地方の元気再生事業について、以下のとおり提案いたします。

【提案名】

参加型地域活性化による暮らしの支援産業とコミュニティの融合 ～八王子市長池公園の参加型公園管理手法を、八王子市・東部地域へ応用し、全国のモデルに～

【問い合わせ先】
組織・役職名：　特定非営利活動法人エヌピーオー・フュージョン長池
氏　　名　：　理事長　富永 一夫
住所　〒192-0363
八王子市別所２－５８長池公園自然館内
TEL　：　０４２－６７８－４６１６　　FAX　：　０４２－６７８－４６４７
E-mail：　tanuki@pompoco.or.jp

平成20年度　地方の元気再生事業　提案書（様式1－1）

(1) 提　案　名	参加型地域活性化による暮らしの支援産業とコミュニティの融合 ～八王子市長池公園の参加型公園管理手法を八王子市・東部地域へ応用し、全国のモデルに
(2) 提案団体名	特定非営利活動法人エヌピーオー・フュージョン長池（以下NPOフュージョン長池と略す）
(3) 推薦団体名	東京都八王子市
(4) 対象地域	東京都八王子市・東部地域
(5)目指すべき地方再生の全体構想	1．八王子市長池公園の「参加型公園管理手法」を応用して暮らしの支援産業を育成 ・八王子市指定管理者として実践してきた参加型公園管理手法（事業者と利用者の合意形成による公園管理）を、八王子市・東部地域の暮らしの支援産業形成に応用し、同地域内の農業生産力（多摩ニュータウン開発外地域）と購買力（多摩ニュータウン開発内地域）の協働で参加型地域活性化モデル・「地産・地消」を実現させる。さらに、すでに交流のある農山漁村「能登・七尾市（石川県）、家島（兵庫県）」等との共生型ネットワークを形成して「食べる力」向上支援事業を実施し、全国のモデルとする。 ・八王子市指定管理者として実践してきた「体験学習」を八王子市・東部地域の公益的施設の場（例：公園・自治会館・町会会館・団地管理事務所・公民館・教育機関の施設等）でも住民が自立して出来るように応用する。さらに、すでに交流のある農山漁村とも連携すること（例：夏休み子ども体験交流や大人のロングステイ等）により「学ぶ力」向上支援事業を実施し、全国のモデルとする。 2．八王子市長池公園の「参加型公園管理手法」を用いてコミュニティとの融合を図る 八王子市は、平成20年度から地域情報化五カ年計画（八王子を便利に街ぐるみ情報化）でICT化を推進している。このICTネットワークに「食べる力」向上支援事業や「学ぶ力」向上支援事業の情報を提供することで、八王子市・東部地域の暮らしの支援産業とコミュニティの融合に応用する。地方都市や農山漁村との連携の際にもICT・ライブカメラ等を利活用すれば、さらに「参加による視える地域活性化」を促進できる。
(6)提案の背景	○地域の課題 1，八王子市・東部地域に「暮らしの支援産業」を育成する必要性 ・八王子市・東部地域内の多摩ニュータウン開発外地域には、今でも酪農や農業を営む方々がいるが、後継者不足から廃業や耕作放棄が起こっている。一方で、多摩ニュータウン開発で都市化された地域には退職者を中心に農業をやってみたい人達がおり、かつ、産直市場があるなら安心な農産物を購入したい人達がいる。 ・多様な暮らしのニーズが発生しているが、解決可能な事業者と住民の関係が不足している。 2．八王子市・東部地域の「コミュニティ形成」に寄与する必要性 ・八王子市・東部地域内には、多くの公益的な場（例：公園・教育施設・町会会館・自治会館・団地管理事務所・公民館・教育機関等）がある。これらを十全に利活用することにより暮らしの支援産業育成を推進できる。 ・八王子市・東部地域内多摩ニュータウン地域では、1990年代に街開きした地区が多く、住民主体で良好な自然環境の保全と、住環境の維持を両立させ、コミュニティを活性化させる必要性がある。 ・八王子市・東部地域の経済発展のためには、八王子市長池公園で育成してきた「長池物語」のようなブランドを応用して、地域発のブランドを生み出す必要性がある。 ・これからの時代の地方再生のためには、まちの資源を効率的に発見・運用する地域コーディネーターを育成しなければならない。 ○これまでの関連の取組

内　容	実施主体
1995 年：　第1回長池ぽんぽこ祭り（夏祭り）	見附ヶ丘連絡協議会
1999 年：　NPO法人フュージョン長池設立	NPOフュージョン長池
2000 年：　八王子市市民活動実態調査を受託し地域資源調査	NPOフュージョン長池
2001 年：　八王子市長池公園自然館を受託し体験学習を開始	NPOフュージョン長池
福祉事業所と協働して地域ブランド創生と物販を開始	NPOフュージョン長池
2005 年：　都市再生モデル調査（安心づくり産業調査）を実施	NPOフュージョン
2006 年：　八王子市長池公園指定管理者受託し体験学習を公園（自然館の外）へ拡大	フュージョン長池公園（受託指定管理者名）
2007 年：　都市再生モデル調査（公園管理評価制度）を実施	町会法人 N-City 西町会／
2008 年：　暮らしの情報取次窓口開設（町会会館利活用向上支援事業）	NPOフュージョン長池

<table>
<tr><td rowspan="6">(7)取組の目標</td><td>〇目標1→</td><td>八王子市・東部地域及び農山漁村との暮らしの支援産業に応用する。
年間の物販取引先数、金額、体験学習プログラム数、回数、人数等の拡大</td></tr>
<tr><td colspan="2">H19（現状）</td><td>H20</td></tr>
<tr><td colspan="2">長池公園での物販と体験学習
物販取引先：15団体、
物販金額：約250万円/年
体験学習プログラム数：17件/年、回数：470回/年、人数：3，507人/年</td><td>八王子市・東部地域及び農山漁村との暮らしの支援産業に応用した場合の目標
物販取引先：20団体、金額：約300万円/年
学習プログラム数：20件、 回数：500回/年
人数：5，000人/年</td></tr>
<tr><td>〇目標2→</td><td colspan="2">コミュニティ形成は、コーディネート力であるので長池公園で実践してきたコーディネートする力を応用して、八王子市・東部地域及び地方都市や農山漁村とのコーディネート力を育成する。
年間の長池公園視察等来園団体数、人数の拡大と八王子市・東部地域内の連携先数と農山漁村連携先数、地方都市連携先数の明確化</td></tr>
<tr><td colspan="2">H19（現状）</td><td>H20</td></tr>
<tr><td colspan="2">長池公園視察等来園団体数と人数：
247団体/年、3，581人/年</td><td>八王子市・東部地域及び地方都市・農山漁村に応用した場合の目標
長池公園来訪団体数と人数：
300団体/年、4，500人/年
連携先数：八王子市・東部地域内　50団体（個人）
地方都市　20団体（個人）
農山漁村　5団体（個人）</td></tr>
<tr><td rowspan="12">(8)取組の内容</td><td colspan="3">〇地方の元気再生事業で取組む内容のねらい
1．自立した個人が暮らしの支援産業に関わることで、自分たちこそがコミュニティ形成の主役であることに気づくこと。
2．自立した個人と団体が住民コミュニティ、生産者コミュニティ、流通コミュニティなど様々なコミュニティをコーディネートすることが、多くの多様な個人や団体を幸せにすることに気づくこと。
3．上記1．2．の気づきと行動が、八王子市・東部地域内での、「顔と名前の分かるコミュニティ」形成につながり、地方都市や農山漁村との間では、共生的かつ互恵的な暮らしの支援産業育成関係を生み出す。</td></tr>
<tr><td>取組①</td><td colspan="2">暮らしの支援産業の育成</td></tr>
<tr><td>実施主体</td><td colspan="2">NPOフュージョン長池、協力：八王子市協働推進課、多摩大学総合研究所、特定非営利活動法人いえしま（以下NPOいえしまと略す）、能登・七尾元気再生協議会（仮称）、京王電鉄（株）、特定非営利活動法人アート多摩（以下NPOアート多摩と略す）、町会法人N－City西町会。</td></tr>
<tr><td>該当する目標</td><td colspan="2">目標―1、2</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="3">1．八王子市・東部地域内の暮らしの支援産業の一環として食べる力（地産・地消）と学ぶ力のコミュニティを形成する。
2．八王子市・東部地域と農山漁村との間で、参加型互恵的流通コミュニティを形成する。
3．交流のある地方都市との間で、課題解決型コミュニティを形成する。</td></tr>
<tr><td>取組②</td><td colspan="2">コミュニティの形成</td></tr>
<tr><td>実施主体</td><td colspan="2">NPOフュージョン長池、協力：八王子市協働推進課、吹田市、多摩大学総合研究所、NPOアート多摩、町会法人N－City西町会、福祉系事業者：由木かたくりの会、特定非営利活動法人多摩草むらの会。</td></tr>
<tr><td>該当する目標</td><td colspan="2">目標―2</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="3">1．　多摩大学総合研究所と協働して、コーディネーター育成支援事業の実践
2．　地域資源（例：公益的な場、公園、自治会館、町会会館、公民館、団地管理事務所、教育機関等）を追加調査することを、地域住民自らが行うことにより調査と当時に人間関係も構築することができる。
3．　この人間関係を支援するために、八王子市が平成20年度から推進している「八王子街まるごと情報化事業」を役立てる。
4．　交流のある地方都市とコーディネーター研究を行う</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="2">(9)関連補助事業等</td><td>調査・事業名</td><td>実施主体</td><td>補助機関</td><td>概　要</td></tr>
<tr><td>超長期住宅推進環境整備事業（企画競争に応募予定）</td><td>国土交通省住宅局市街地建築課</td><td>なし</td><td>超長期住宅実現のための担い手の育成、ビジネスモデルの構築をはかるため、住替え・二地域居住の推進及び良好な居住環境の整備を推進する住民組織・NPO等への助成を行うことを目的としている。</td></tr>
<tr><td>(10) 実施体制</td><td colspan="4">事務局： NPOフュージョン長池、多摩大学総合研究所で構成
1．NPOフュージョン長池
1999年の法人設立以来の地域人脈を結集して事務局を推進。
2．多摩大学総合研究所
松本祐一准教授： 地域組織経営・地域マーケティング
中庭光彦准教授： 地域政策・ソーシャルマーケティング
協力団体：
1．関東ICT推進NPO連絡協議会（総務省関東総合通信局）
地域でのICT推進を指導、平成21年9月に八王子ICTセミナー実施予定
2．八王子市公園課
長池公園の利活用で協力
3．八王子市協働推進課
コーディネーターを育成、町会・自治会と NPO の協働
4．八王子市産業政策課
暮らしの支援産業を構築することに協力
5．八王子市IT推進室
八王子街まるごと情報化で協力
6．サイバーシルクロード八王子（首都圏情報産業特区・八王子）
八王子の情報産業育成で協力
7．京王電鉄（株）開発企画部
京王電鉄グループ各社の沿線価値向上事業として協力
8．八王子市東部地域内外の協力団体
（社福）由木かたくりの会、福祉団体多摩草むらの会、NPOアート多摩、
多摩NPOセンター、せいがの森保育園、N－City西町会、
暮らしと住まい相談センター
9．八王子市東部地域協力個人
体験学習講師：20人、その他約100人
10．農山漁村
地方の元気再生事業応募予定団体：NPOいえしま、能登・七尾市元気再生事業協議会（仮称）、その他全国のNPO交流団体
11．地方都市
地方の元気再生事業応募予定団体：吹田市等（千里ニュータウン関係団体）、その他ニュータウン縁卓会議参加の市と団体</td></tr>
</table>

平成２０年度　地方の元気再生事業　提案書（様式１－２）

【平成２０年度に実施する取組】

	平成２０年度の取組におけるスケジュール
９月	・事務局開設・活動開始。 ・協力団体及び個人への説明会の開催 ・本プロジェクトのＨＰを開設し、段階的に活動内容や成果の公開 ・マスコミ発表
１０月	「暮らしの支援産業」の形成 ・八王子市・東部地域の「食べる力」と「学ぶ力」向上支援事業を実施するための追加的資源調査 ・ＮＰＯいえしま（兵庫県姫路市）、能登・七尾市（石川県）と相互訪問し、事業内容の企画と可能性調査 ・八王子市・東部地域、農山漁村、地方都市の協力団体と個人で「食べる力」と「学ぶ力」のワークショップを実施 ～これを受けて「産直市場」と「学び」の参加型催事をパイロット的に実施 ・八王子市東部地域、農山漁村、地方都市「合同展示即売会」と地域のアートや食育の複合的プログラムの実施 「コミュニティ」の形成 ・八王子市・東部地域の公益的な場（公園、自治会館、町会会館、公民館、団地管理事務所、教育機関等）の追加的資源調査 ・多摩大学総合研究所によるコーディネーター育成プログラムの企画開始 ・八王子市・東部地域で求められるコーディネーター調査 ・農山漁村で求められるコーディネーター調査 ・地方都市で求められるコーディネーター調査 ・八王子市が推進する「街ぐるみＩＣＴ化」と連携（参考資料：２００８年２月９日日経） ・八王子市と協働してパイロット講座（コーディネーター研修）を実施
１１月	
１２月	
１月	
２月	
３月	○各事業評価 ○今後の課題整理、次年度の実施項目検討 ○報告会の実施と報告書作成

<table>
<tr><td colspan="2">(11)取組の内容</td><td>平成20年度の調査を踏まえ、21年度以降については、事業のパイロット的実施から本格的実施への移行を行う。
1．暮らしの支援産業の形成
・八王子市・東部地域の暮らしの支援産業の連携先を増やして、「産直市場」を週1回定例開催できるようにする。
・八王子市・東部地域と農山漁村地域との連携を、「合同展示即売会」とすると共に、ワークショップ型学びの場も同時開催として年1回定例開催できるようにする。
・八王子市・東部地域と交流のある地方都市との間で、課題解決型コミュニティを形成し、2006年度から始めた「ニュータウン人・縁卓会議」を定例化する。
2．コミュニティの形成
・多摩大学総合研究所と協働して開発する「コーディネーター研修制度」を、八王子市と協働してプログラムを開発し開催できるようにする。
・公益的な場（例：公園、自治会館、町会会館、公民館、団地管理事務所、教育機関の施設）でも、「合同展示即売会」や「産直市場」が開催できるようにする。この催事を実施することで、同時にコミュニティ形成が行われる。
・八王子市が推進する「八王子街まるごと情報化」と連携して成果を、2009年9月に「八王子セミナー」として発表する。関東ICT推進NPO連絡協議会（総務省関東総合通信局）との共催事業。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">(12)
平成21年度以降の展開スケジュール</td><td>平成 21 年
４月
～
３月</td><td>平成２１年度の取り組み内容（予定）
・長池公園で産直市場を週１回定例開催するために八王子市公園課と調整。
・長池公園で合同展示即売会を年１回開催するために八王子公園課と調整。
・産直市場や合同展示即売会が公益的な場で開催出来るよう八王子市協働推進課、産業政策課と町会法人等と調整すると共に学びの場も形成する。
・交流のある地方都市と縁卓会議が定期的にできるように調整。
・八王子街まるごと情報化と連携するために八王子市ＩＴ推進室と調整し、上記の活動を日常的なコミュニティ形成につなげる。
・多摩大学総合研究所とＮＰＯフュージョン長池が協働して、（仮）参加型地域活性化支援センターを設立し、八王子市と協働しコーディネーター研修を実施し全国のモデルにする。</td></tr>
<tr><td>平成 22 年
～
平成 29 年</td><td>本格的事業展開
・八王子市・東部地域と農山漁村との暮らしの支援産業を本格的に支援し、流通コミュニティの形成を日常的に推進する。さらに、公益的な場（例：公園、自治会館、町会会館、公民館、団地管理事務所、教育機関の施設）で「産直市場」や「合同展示即売会」を日常的に開催し、かつ、学びの場も形成できるようにすることで地域内コミュニティの形成も行う。
・縁卓会議で知り合った地方都市と日常的に交流するすることで、課題解決型コミュニティを継続的に形成する。
・八王子街まるごとＩＣＴ化の実践を、関東ＩＣＴ推進ＮＰＯ連絡協議会（総務省関東総合通信局）と協働して、全国のモデルにする。
・参加型地域活性化支援センターを本格稼働させて、全国へ八王子モデルとして情報発信する。</td></tr>
</table>